



みんながってみんない。



学校法人たつみ学園

# ながいけ認定こども園

入園のご案内



# 子どもも大人も共に育つ。

「教育」とはなんですか？

私たちはこう考えます。

親と子が様々な出来事を経験する中で深く関わり

互いの理解を深め信頼関係を築くこと。

その土台があれば、親である私たちはその後の成長過程において

子どもが持つ可能性を信じ、じっくりと長い目で見守ることができると思っています。

親が子どもに寄り添える就学前は子どもを知ることができる貴重な時期です。

一緒に原っぱを走り回ったりどろんこになって遊んだり、

時には問題にぶつかって共に悩んだり考えたり、

その実体験を通した遊びの全てが学びになります。

親も一緒に体験し成長する。

「恐育」ではなく「共育」へ。

保育者も園児も、園全体がみんなで成長し響き合う。

手を取り合って育ち合う「響育」「協育」「興育」へ。



就学前だから…

## 自然の中で遊ぶ。

言葉を使いこなす前のこの時期、

子どもたちは目の前にあるものを見たまに感じたままに捉えます。

花の匂い、雨の音、水の冷たさ、空の景色、木の実の味など、

幼少期の子どもたちは5感をフルに使って

全身で自然環境の性質を感じ取ろうとします。

自然の中でめいっぱい遊ぶという経験は、

見ただけ聞いただけの情報よりもはるかに多くのことを吸収し、

体中に忘れられないものとして定着します。

水や土は生き物を形成する元であり、感性豊かな大人になるためには

幼少期にしっかりと水遊びや泥遊びをする必要があるのです。



就学前だから…

## 主体性を育む。

就学前のこの時期は人間関係においてもすぐに仲直りができ、

何度でもやり直すことができる時期です。

この時期にできるだけ多くの出来事や人との関わりを持つことで

主体性や適応能力、協調性などが育まれます。

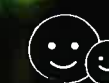
これらの経験の中で子どもはいつしか自信を持って行動し、

取り組み、関わり、ぶつかり合うようになります。

結果はうまくいったりいかなかったり。

時には傷つき悲しむこともあるでしょう。

その全てがその後の人生を強く生きるための学びになります。



就学前だから…

## 親子共に育つ。

就学前は親子がしっかりと向き合い

お互いの理解を深め合う時間が取れる貴重な時期。

子ども達は自然いっぱいの環境の中で

様々なものの見方・感じ方を発揮します。

何しろ自然の中での遊びには正解はありません。

この時期にいろいろな個性を発見できた親子は互いに理解し、

共感し、課題を共有しあうことで信頼を深めます。

幼少期のこれらの経験はその後の親子関係の基礎になります。



# 動植物とのふれあいや水遊び、友達とのつきあいを通じて 生きるための力を身につけます。

## 自然の中で遊ぶ

### 動物・植物、命とのふれあい



#### ● 園の動植物

感性を育む時期にたっぷり  
と自然にふれあいます。  
園内の動物の世話をすることは  
他者のために何かをする  
体験になります。



#### ● 親子アウトドア

年に数回親子で参加できるアウト  
ドアイベントを開催します。  
自然いっぱいの中、親子で感動と  
思い出を共有します。

### どろんこ・水遊び



ポンプで汲み出せる井戸や川で毎日水遊び。  
園庭どこでもどろんこ遊びOK!  
みんなぐちゃぐちゃになって遊んでいます。

## 主体性を育む

### ★ 礼儀



#### ● 感謝の気持ち

命をいただくということの重み  
を知り、周りの人達へ想いを  
巡らせることで、他を思いやり  
感謝する気持ちを学びます。



#### ● 我慢すること

集団生活の中で思い通りに  
ならず我慢しなければいけない  
場面にも出会います。気持ちを  
制することも大切な学びです。

### コミュニケーション



#### ● 共働する

運動会や音楽会や製作では、  
園児たちが話し合って作りたい  
ものを作り、踊りたい曲や振り  
付けを考えます。



#### ● 遊びやケンカ

お互いの主張がぶつかりあって  
起きる揉め事もみんなで集まっ  
て話し合い、互いが納得できる  
ことを探しあいます。



#### ゾウリのススメ

園では子どもの健やかな足の  
形成のため草履を推奨しています。

## 共に育つ

### 親子で思い出を共有



#### ● あそぼうDAY

大泉公園全体を使ってオリエンテーリングしたり走り回ったり  
して親子、家族がみんな一緒になって遊びます。



#### ● つくろうDAY

親子で協力しておもちゃ  
や木工をつくります。  
また園児たちが力を  
合わせて作った大作の  
展示も同時に行います。

### ★ 大人も育つ

#### ● キンダーカウンセリング

定期的にカウンセラーに来園してもらい、難しい乳幼児期の  
育児をサポートするカウンセリングを実施しています。

#### ● 懇談会

懇談会で保護者同士悩みやア  
イデアなどを共有して、互いに  
協力しながら子育てに取り組  
んでほしいと考えています。

#### ● 送り迎えで交流

園児、保育者、保護者との毎日  
のほんの少しの交流で、園の  
みんなが毎日少しずつ理解し  
あい共に成長します。

### ながいけの想い

人間は一人一人の性格や特徴が異なります。  
あるがままで素晴らしい存在です。  
中でも子どもは可能性の宝庫。

私たちは子ども一人一人が持つ、  
無限の可能性を引き出してあげたい。  
そのカギは好奇心にあるのではないのでしょうか？  
「あれ何？」「それ面白そう！」  
「僕も私もやってみたい！」  
そんな言葉を発するきっかけを与えてあげたいのです。

園内にはビワやウメ、りんご、もも、柿、カボス、  
レモンなどの木がたくさん植えられています。  
季節ごとの実がなると、子ども達の目はランラン。  
「先生あれ何？」「あれとって」「あれ食べたい！」。  
そうしてみんなで収穫した果実でジュースを作ったり、  
砂糖漬けにして食べたりします。

実のなる木以外にも、  
園内では多くの動物を飼っていて、  
その世話は我々保育者と子ども達(希望者)の担当です。

また、水遊びできる小川を作り、  
園内はどこでもどろんこ遊びOKです。

子ども達はそんな環境の中、  
友達とぶつかったり協力したり、  
身体全体で生きるための力を身につけています。



1年間の流れ

4

- ・入園式
- ・お迎え会



5

- ・園外保育
- ・みんなで  
あそぼうDAY
- ・保育参観
- ・クッキング



6

- ・水遊び
- ・どろんこ遊び



7

- ・七夕祭り
- ・プール遊び
- ・お泊まり保育
- ・おさとがえり



8

- ・プール保育  
(任意参加)



9

- ・園外保育  
(大泉公園)
- ・祖父母参観



10

- ・運動会
- ・芋掘り
- ・クッキング



11

- ・バザー
- ・ミニ動物園
- ・みんなで  
つくろうDAY



12

- ・園外保育  
(大泉公園)
- ・クリスマス
- ・餅つき



1

- ・園外保育  
(風揚げ)
- ・観劇会
- ・クッキング



2

- ・節分(豆まき)
- ・参観/音楽会
- ・おわかれ遠足



3

- ・お雛祭り
- ・お別れ会
- ・卒園式



2016年に園舎をリニューアル。  
自然の肌触りを感じられる明るく開放的な空間で、  
子ども達が生活しやすい場を追求しました。

- ・床には無垢材を採用しており、裸足になれば木の肌触りを感じながら過ごすこともできます。
- ・保育室前の広々とした廊下も園児たちの遊びのスペースです。
- ・土のある園庭と人工芝の敷かれた屋上園庭は遊びにに応じて使い分けできます。

園長からのメッセージ

小学校教諭の祖母が、就学前教育の重要性を感じて昭和7年にこの地に開園。それ以降、子どもを育てることと保護者を育てることの両方を大切にしてきました。

この考えは今もそしてこれからも変わることはありません。

園生活では喧まったり、ひっかいたり、たたかれたりといろんなことがあります。子どもを預かるだけの場所であれば、怪我なく監視することでしょうが、教育の場としての認定こども園は、

将来社会に出た時にどんな人間に育ってほしいかという願いを持って子どもたちに接しています。園児たちにはお互い様の心を持ち、考えることを伝えています。

保護者の方も同じです。男と女が結婚し、夫と妻になります。そして子どもが生まれると父と母になります。今皆さんは父・母としてまだ1歳・2歳です。子どもに小さな怪我やトラブルを経験させ、大きな怪我を自分で回避できる能力を獲得させてください。

保護者の皆様に  
お願いしたいこと



1 早期教育のこと

本園では早期教育といわれる領域は取り組んでいません。就学前に必要な学びとは自然体験やコミュニケーション、買い物してみるといった実体験だと考えています。勉強の取り組みは各家庭にお任せしています。

2

ホームクラスのこと

朝と夕方、休み期間中もお預かりします。ただしあくまでもこども園は家庭教育の補完と考えてください。子どもの健やかな成長の為にできるだけ親と共に過ごす時間を多くとってあげてください。

3

食育のこと

ご飯をしっかりかむこと、これは健康の源です。これを意識することにこだわり、お弁当には週に1・2回程度、塩で握った『おにぎり』をお願いしています。



# 70有余年の歴史の中で、 巣立った園児は1万2千人を超えます。

学校法人たつみ学園 ながいけ認定こども園



## 長池幼稚園のあゆみ

|              |       |                    |
|--------------|-------|--------------------|
| 1932年(昭和7年)  | 4月    | 私立長池幼稚園認可          |
|              | 11月   | 開園式                |
| 1939年(昭和14年) | 12月   | 北園地拡張増築            |
| 1945年(昭和20年) | 4月～8月 | 第2次世界大戦のため休園       |
| (昭和20年)      | 9月    | 戦後直ちに再開園           |
| 1952年(昭和27年) | 11月   | 20周年記念式挙行          |
| 1953年(昭和28年) | 5月    | 西園地拡張園舎増築          |
| 1962年(昭和37年) | 11月   | 30周年記念式挙行          |
| 1966年(昭和41年) | 1月    | 園舎一部鉄筋コンクリートに改築    |
| 1978年(昭和53年) | 12月   | 学校法人たつみ学園として許可を受ける |
| 1979年(昭和54年) | 9月    | 園舎大改増築完成           |
| 1982年(昭和57年) | 11月   | 50周年記念式挙行          |
| 1985年(昭和60年) | 5月    | 大分県公舎買取            |
|              |       | 西運動場拡張・プール移設       |
| (昭和60年)      | 8月    | 運動場222㎡拡張          |
| 1993年(平成5年)  | 2月    | 園地86㎡に拡張           |
| 1997年(平成9年)  | 8月    | 園舎改築、園舎リニューアル      |
| 2015年(平成27年) | 4月    | 幼保連携型認定こども園に移行     |
|              |       | 園名をながいけ認定こども園に変更   |
| 2016年(平成28年) | 2月    | 園舎リニューアル           |



## 所在地・連絡先

学校法人たつみ学園 **ながいけ認定こども園**

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5丁目2番26号  
TEL:06-6622-3444 FAX:06-6622-3670  
E-mail [1@nagaike-k.ed.jp](mailto:1@nagaike-k.ed.jp)  
ウェブサイト <http://www.nagaike-k.ed.jp/>  
教育・保育時間:7時30分～18時30分まで

